

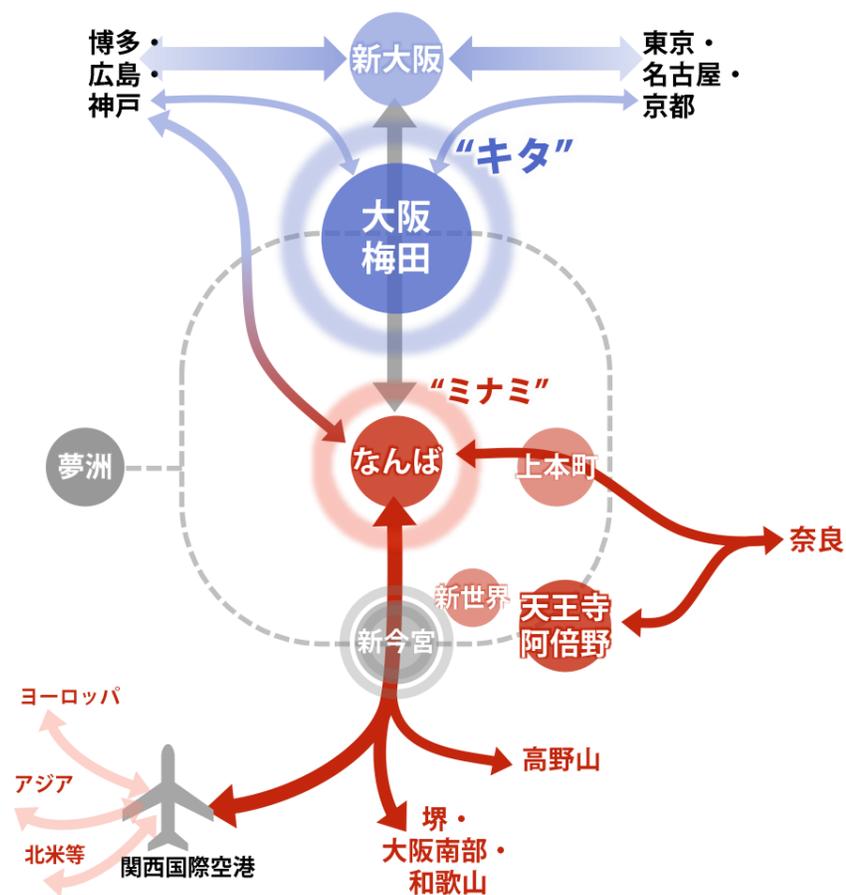
「新今宮駅北側まちづくりビジョン」の概要

新今宮駅北側まちづくりビジョンの趣旨

まちの変化が進む新今宮駅北側エリアにおいて、観光・賑わいづくりの視点を踏まえた概ね5年（大阪・関西万博）～10年（なにわ筋線開業）のまちづくりについて、その方向性や将来像を共有し、関係者・事業者による取組推進や、周囲の発展に向けて投資しやすい環境を創出するために、大阪市が策定するもの。

これまでの大阪南部エリア

- 大阪市全域においては、開発が進む梅田を中心に存在感を増す“キタ”に対し、南部エリアは大阪らしい魅力的な資源を有する拠点間のつながりの強化が課題となっている。
- 新今宮**は関空からのアクセスに優れ、なんば、新世界、天王寺・阿倍野などの繁華街に隣接するも、**来街者にとっては「通過点」という印象**。

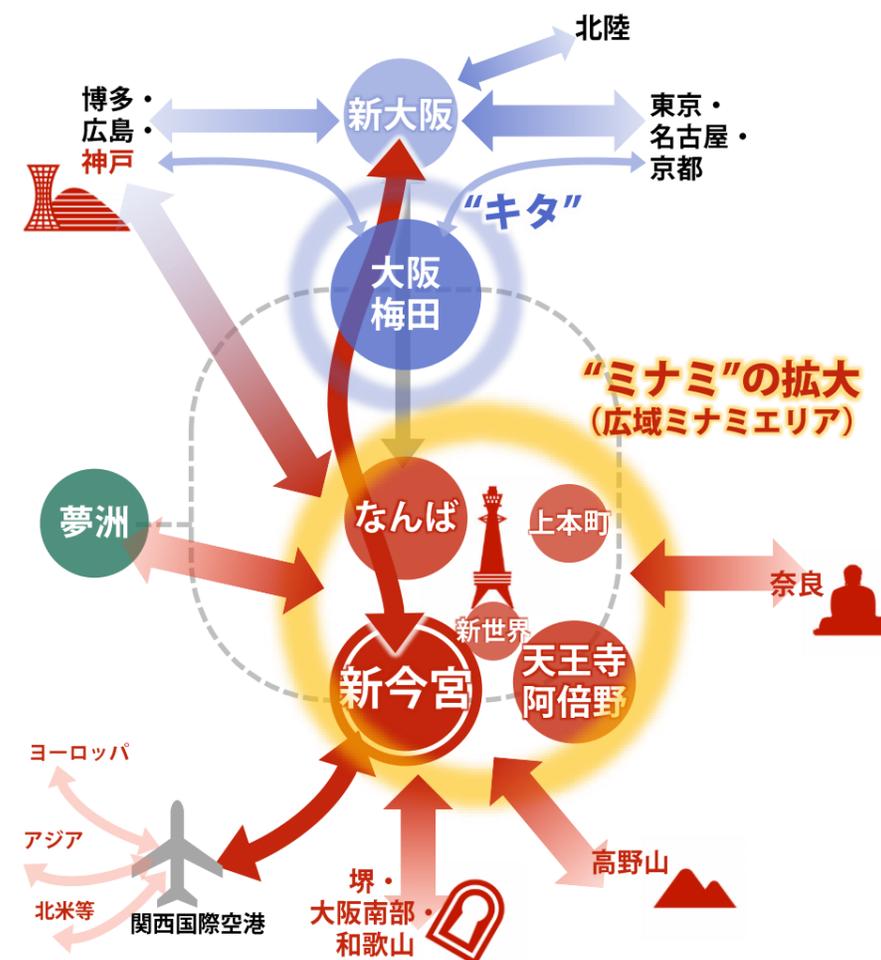


変化の兆し

- 訪日外国人の増加
- 宿泊施設・ゲストハウス等の集積
- なにわ筋線の整備

これからの大阪南部エリア（“ミナミ”の拡大）

- 来街者の増加**や**なにわ筋線の整備**などを契機に、従来の“ミナミ”であるなんばに加え、新今宮、新世界、天王寺・阿倍野を含む範囲を“広域ミナミ”として捉え、**ミナミの魅力を一括で発信**。
- 新今宮**は新たなミナミの玄関口として国内外の来街者を迎え入れ、**地域住民・来街者の双方にとって安全・快適で過ごしやすい街に**。



「新今宮駅北側まちづくりビジョン」の概要

まちの特性

【高い利便性・将来性】

- なんばエリアと新世界、天王寺・阿倍野エリアの賑わいをつなぐ、広域ミナミの中心
- 鉄道7路線が乗り入れる交通結節点であり、新大阪や大阪・梅田、関西空港、奈良、和歌山方面とも直結
- なにわ筋線開業による交通結節性の更なる強化

【増加する来街者・外国人】

- 来街者（とりわけ外国人）の増加
- 駅徒歩圏内で進む宿泊施設等の建設・開業
- 土地利用の変化（宿泊施設等の増加）

【交通量予測調査の結果】

- 宿泊施設等の建設・開業が進んだ時点においても、自動車・歩行者共に交通処理に問題はない見込み

まちの課題

【地域・居住環境の状況】

- 単身世帯の割合が極めて高く、子育て世帯が少ない（世帯数の約8割が単身居住）
- 高齢化が進行

【駅及び駅周辺の状況】

- 歩道沿いのフェンスが歩行者の通行を妨げている
- 新今宮駅のバリアフリー化等
 - ・乗換客の多いJR-南海間の構内ルートが階段のみ
 - ・宿泊施設等の建設・開業が進む駅北側への出入口がない
 - ・大規模な駅改修に必要な開発用地がない
 - ・駅舎が古く、景観を損ねている状況にある

地域の方々の想い（アンケート調査）

- 優先すべき取組として、防犯対策の強化、歩行者空間の整備、駅改良に関する回答が多く寄せられた
- 自由回答欄では、環境美化、観光客等のマナー対策に関する回答が多く寄せられた

まちの将来像

新たな大阪の玄関口となる「訪れてよし・住んでよし」のまち

まちづくりの目標

1
なんばや天王寺・阿倍野まで賑わいがつながり、楽しく観光・回遊できるまち

2
良好な環境のもと、世代や国籍を越えて人々が共に暮らし、チャレンジできるまち

まちづくりの方向性

① 快適な歩行者空間の創出

- 歩道沿いフェンスの撤去・美装化（南海高架下、JR高架下等）
- 回遊性や生活動線を考慮した歩行者空間の検討・整備
- 駐輪場の移設

② 玄関口にふさわしいおもてなし環境づくり

- 南海新今宮駅高架下空間の利活用
観光案内機能（コインロッカー、Wi-Fi環境、多言語対応の案内サイン等）、賑わい・飲食機能の誘致、南北通路の美装化と賑わいづくり
- 官民連携による地域の魅力向上
エリアブランドの向上、プロモーションの実施、着地型観光プログラムの開発と提供、外国人人材育成やビジネス・交流の活性化や多言語による観光客へのマナー啓発

③ 交流軸に沿った賑わい・憩い空間の創出

- 南海新今宮駅高架下空間の利活用〔再掲〕
- なんばや天王寺・阿倍野とつながる賑わい・憩い空間の創出
- 恵美公園の拡張整備
- 賑わい創出に向けた社会実験の取組

④ 乗換動線の強化等に向けた駅改修の方向性の決定

- 新今宮駅（JR-南海間）の乗換ルートのバリアフリー化等の方向性の決定（道路空間の活用検討を含む）

⑤ 駅周辺における適正な放置自転車対策

- 将来的な駅改修等に伴う放置自転車対策のあり方検討
- 駐輪場の再編・整備